

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターwill		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		～ R7年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的なアセスメントに基づく、こどもの特性に合わせた支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのお子様の状態や特性、学習スタイルのアセスメントや行動の分析を丁寧に行い、子どもの特徴に合わせた支援を提供できるよう努めている。 療育で見つかった子どもの特徴や支援の工夫については、保護者の方や所属先の先生方にも共有している。 	<p>職員研修の充実等により、専門性や支援力の向上を図る。</p> <p>専門性を生かしたケースの検討や情報共有を実施する。</p>
2	個別的な環境配慮	一人ひとりのお子様の特徴や配慮事項に合わせて、活動場所や動線の配慮を行っている。	家庭や地域生活に般化できる工夫を検討し、日常生活への応用を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこども園や小学校との交流など、地域のほかのこどもと活動する機会がない	1時間の個別療育のため、地域に出向く機会が少ない	地域生活に生かしていけるスキルを見据えてプログラムの立案を行う。
2			
3			